

気をつけてあげましょう

突然死から守ろう

「乳幼児突然死症候群」をご存じですか。

欧米などでは以前から知られていた病気で、2歳ごろまでの乳幼児が寝ている間に、突然呼吸を止めてしまうものです。

最近では日本でもみられます。今のところは、原因不明ですがうつぶせ寝、温めすぎ、周囲の喫煙などとの関連が言われています。

※うつぶせ寝を希望される方は、自宅でも使える乳児用呼吸モニターベビーセンスがあります。詳しくは2F入院会計前のパンフレットをご覧ください。



気をつけてあげましょう

予防としての5項目を心がけましょう

- 1.なるべくあおむけ寝で育てる。
- 2.赤ちゃんを1人にしない。
- 3.温め過ぎに注意する。
- 4.妊娠中や赤ちゃんの周囲で、喫煙をしないようにする。
- 5.できるだけ母乳で育てる。



気をつけてあげましょう

外気浴をさせましょう

外気にあてることで気候の変化に慣らせ、体温調整能力の向上と抵抗力・食欲増進が外気浴の目的です。

方法



- 夏は生後2週間以降、冬は3週間以降
- 部屋の窓を開けるところから徐々に慣らせる
- 外気浴を開始して1ヶ月以降は散歩がよい
- 1日5分(1回)から始めその後30分まで伸ばす
- あまり強い日焼けはしないようにしましょう

気をつけてあげましょう

交通事故から守ろう

時速50kmで走行中に衝突した場合、体重の30倍の力が前方にかかり飛び出してしまう。

交通事故から赤ちゃんを守るために車に乗せるときは
チャイルドシートの使用を厳守しましょう。

(新生児を含め、6歳未満の幼児には、原則チャイルドシートの使用が義務づけられています)



気をつけてあげましょう

チャイルドシートの使用例



乳児用(0~9ヶ月程度)
首が座るまで寝かせておけるタイプを使用します。



幼児用(4ヶ月~4歳程度)
自分で座れるようになったらこのタイプを使いましょう。小さいうちは後ろ向き、大きくなったら前向きに。



学童用(4~10歳程度)
大人のシートに座れても座高を上げ、シートベルトにフィットするように調整しましょう。